



国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院

〔所在地〕 〒180-04 東京都清瀬市梅園 1-2-7
 〔電話〕 0424-91-1311・3111
 〔交通〕 池袋より西武池袋線にて清瀬駅下車。南口からバスで約5分。梅園1丁目（結核研究所前）下車。徒歩2分。
 〔学科〕 理学療法学科・作業療法学科
 〔生徒数〕 約120名（各学科1学年20名）。
 〔募集人員〕 各学科20名。
 〔倍率〕 昭和54年度 理学療法学科14.5倍 作業療法学科7.2倍。
 〔修業年限〕 3年（昼間）

設立の目的

リハビリテーション医療の中の理学療法または作業療法に関する知識・技術教育を行い専門職としての自覚と実力を修得させ社会福祉の増進に積極的に貢献する意欲を持った人間を育成することを目的とする。

沿革

本学院は昭和38年5月1日国立療養所東京病院に附設された、わが国最初の理学療法士および作業療法士の養成校である。開校準備からその後数年間の教育は世界保健機構（WHO）、世界理学療法連盟（WCPT）、世界作業療法連盟（WFOT）の援助を受けて行われた。開校当初より世界の水準に合わせた教育がなされたことは非常に幸いであった。このことは卒後の外国での研修および就職を容易にし、現在のリハビリテーション医療や教育の発展に大きく貢献している。学院の施設も順次改善され約93,000m²の豊かな敷地に2,000m²を超えるわが国最大の実習棟が54年11月に完成され、この分野における教育の充実及び研究の場としての役割を担っている。

教育内容

一般基礎科目：物理学、生物学、人間発達、社会学、心理学、教育学、統計学、英語
 基礎医学：解剖学、生理学、病理学、公衆衛生学、運動学
 臨床医学：一般臨床医学、臨床心理学、整形外科学、臨床神経学、精神医学

理学療法学科：運動療法、日常生活動作、義肢・装具、検査測定、物理療法、臨床実習

作業療法学科：作業療法原理、身体障害に対する作業療法、精神障害に対する作業療法、日常生活動作、職業前評価と訓練、作業療法技法、臨床実習 等

臨床実習は1320時間と非常に多く、知識と技術を実践を通して確実に身につけるため70以上の病院および施設にて行われている。

教育目標

理学療法学科：学生の教育と生活指導にはどれほど時間を費しても十分ということはないが、特に本学院は障害をもった人間を対象とする職業人を養成しているのであるから一般の学校、大学で行われているような60点合格制度で進級を決めてゆくわけにはゆかない。その理由は簡単で、患者は現実に常に100点いやそれ以上を要求しているからである。人間の生命にかかわる仕事をする者は、努力目標が常に患者の要求に合うところになければならない。また人間の生命の尊さを本当に知ることが大切である。どうすればそれを知ることができるか。少なくともこの2点に関して職員と学生は体をぶっつけて真剣にとり組んでいる。学生は広い自然の中で生活しながら学業、スポーツ、ボランティア活動を通してこれを身につけ社会に出てゆくことを目標としている。

作業療法学科：作業療法は理学療法に比べてわかりにくいと言われるが、小児から老人まで、精神および身体に障害のある人々の心身の機能回復に幅広い面から働きかける治療で、そのユニークさは心と身体を共に平等に重要視するところにある。人は生きることへの意欲と方法手段、そして人としての尊厳をたとえ、いかなる条件のもとにおかれても、しっかりと持ちつづけてゆくべきではないだろうか。作業療法士はこれらの方法を具体的に考案し、利用して、心身障害者のリハビリテーションの一翼を担っているのであるから、医療専門職の一員としての心構えと、基礎的な知識・技術を身につけ、社会に貢献できるよう教師・学生一体となって努力している。

（理学療法学科教育主事 伊藤 直栄）

（作業療法学科副教育主事 小川 恵子）